

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル小山東城南（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた支援内容を専門職の意見を踏まえながら作成し、質の高いサービスを提供している。	個別支援計画書の作成時や日常の支援において、児童の特性や発達状況について、児童指導員だけでなく専門職とともに評価を行い、多角的な視点から支援内容を検討している。	各職員や専門職が意見を出しやすい場を継続的に設け、支援内容の検討や見直しを行うことで、より質の高い療育につなげていく。
2	家庭と連携し、児童および保護者のニーズをできる限り把握できるようにしている。	保護者と話す機会を定期的に設け、保護者のニーズや児童の課題を共有している。また、担当職員によって内容やアドバイス、課題提示に差が生じないように、職員間で情報共有を行っている。	保護者への課題提示やアドバイスを、より質の高いレベルで行えるよう、職員研修等を通じて学びの機会を継続的に提供していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児と地域との交流機会、また保護者同士の交流機会の企画・提供が十分ではない。	療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いてきた一方で、「地域支援・地域連携」に関する情報収集や具体的な取り組みが十分に行えていない。	安全面に配慮しながら、近隣の公園等での活動や地域イベントへの参加など、小規模な取り組みから段階的に交流の機会を増やしていく。また、地域の活動や資源に関する情報収集を行い、支援に活かしていく。
2	保護者同士が交流する機会が少ない。	就労されている保護者も多く、時間帯や開催方法の調整が難しく、交流の場を設定しにくい状況がある。	交流会の開催時期や時間帯、形式を工夫し、より多くの保護者が参加しやすい形となるよう改善を進めていく。
3			